総合防災訓練報告書

　　　　　　　　　　　　　　　　報告者　山本裕太郎

令和６年11月４日、青島地域総合センターにて避難所保健医療福祉活動訓練が行われ、今年は避難所訓練のみの開催となりました。

当会からの参加者は、増田輝会員、清原真哉会員、土肥賜一郎会員、黒江時人会員、山本裕太郎の５名で参加しました。訓練に参加されている他団体はJRAT(日本災害リハビリテーション支援協会)、歯科医師会、看護協会、栄養士会、薬剤師会、DWAT(災害派遣福祉チーム)が参加されていました。

　訓練内容は、模擬患者が相談窓口に行き、抱えている不調を相談。そこから各支援団体に振り分け対応する流れでした。柔道整復師会の方には、避難中に怪我をしたり、避難所生活で生じた足関節捻挫、膝関節捻挫、腰痛、肩関節痛、頚部痛などの処置の依頼がありました。受付での対応、施術担当、柔道整復師を周知してもらうように活動する先生など役割分担を行い対応しました。今回は模擬患者も少なく時間が余る場面がありましたので、各団体と他職種連携を図るために積極的にコミュニケーションを取りました。そこでも柔道整復師が何ができるのか理解してる方は少なく、医療関係者の中でも柔道整復師はまだまだ認知度が低いなと感じました。そこで次回への反省点として、柔道整復師は何ができるか理解してもらえるようなポスター掲示した方がよいという声も上がりました。

　最後に、今回の訓練では模擬患者の問診を行っていると歯の痛みや生活環境の悩みなど訴える患者もいました。その患者を他の支援団体に紹介したり、反対に依頼を受けたりする場面もあり、各支援団体が1人の患者に対し様々な方向からアプローチをすることができる環境は非常に重要で大切なことだと感じました。このような関係性を実際の災害現場や日頃の施術でも構築していけるように取り組んでいきたいと思います。

